

寅さん歩 その 18

東京の学食めぐり-1



平野 武宏

「寅さん歩」の愛読者から「学食めぐり」をテーマに取り上げて欲しいとの要望がありました。最近是一般の人も食べられる学食が増えていますので、新シリーズとして東京にある大学キャンパスの学食をめぐり・紹介します。このテーマは訪れるだけでなく、実際に食べて・コメントが必要です。取材やコメントでは関係者にご迷惑をかけないよう配慮します。コメントはあくまでも「寅次郎の好み・独断」としてお読みください。構内の写真撮影は建物外観のみで人物が写り込まないことが原則です。まずは寅次郎の住む豊島区にある大学の学食から訪問します。メニューや値段は訪問時のものです。右上写真はパンダの食事風景です。食べ過ぎて、こんなに太らないように注意です。最寄り駅は代表例です。

「立教大学」 豊島区西池袋 3-34-1 最寄駅 JR 池袋駅西口

明治7年(1874年)米国聖公会(英国教会派の会派)の宣教師チャニング・ムーア・ウィリアムズが築地外国人居留地付近に立教学校(キリスト教のミッションスクール)を創立。その後、セントポール・カレッジとも呼ばれましたが、明治40年(1907年)立教大学と改称。大正7年(1918年)池袋へ移転。大正11年(1922年)大学に昇格。長嶋・杉浦・本屋敷が活躍した東京六大学野球黄金時代は有名です。構内に立教学院展示館、チャペル、卒業生の灰田勝彦が歌った「鈴懸の径」があります。

駅から立教通りを直進すると、左側に蔦の絡まる煉瓦校舎が見えて来ます。正門(写真下左)を入り、奥の突き当りの建物(写真下右)が学食(第一食堂)です。右側の入口に券売コーナーがあります。



学食は天井の高い建物で券売コーナー・受取コーナー・食べる場所が区切られていて、動線の工夫を感じます。



券売機は左から A コーナー:丼もの、
B コーナー:カレー・定食、
C コーナー:麺類

券売機の後ろには
おすすめメニュー
が展示。

上の壁にメニューの写真と金額が表示

右端には高額紙幣用の券売機があり。平日 8 時 30 分～17 時 30 分

が営業時間で 14 時 30 分からサービスタイムで日替
で割安になるメニューが
あるとのこと。

おすすめメニューから
本日のプレミアム
濃厚ミートソース スパ
ゲッティ スペイン産
生ハム添 バケット付



450 円を選択。ボリュームあり。

立大女子の一押しはかつ丼と聞き、後日食べました。汁たっぷり
でお米が美味しいです。ハヤシライス is 他人のものです。



かつ丼 370 円



ハヤシライス 360 円

新しい建物にも学食はありますが、メニューが多いのは上記の第一食堂とのこと。セントポール館には日比谷松本楼があり、ランチ（1,080円～1,500円）が食べられます。

【大正大学】 豊島区西巣鴨 3-20-1 最寄駅 三田線 西巣鴨駅

大正 15 年（1926 年）天台宗・真言宗豊山派・浄土宗の各宗が賛同して天台宗大学・豊山大学・宗教大学が合併して発足した大学。昭和 18 年（1943 年）真言宗智山派の智山専門学校が加わり、三宗四派の連合大学となりました。創立は天台宗大学が創立した明治 18 年（1885 年）としています。天台宗と最澄教学を専門的に研究できる唯一の大学です。

大塚駅前からは都電荒川線に乗り、庚申塚駅下車、とげぬき地蔵と反対側の左の道を行くと大学の脇（写真下右）から入れます。西巣鴨駅からは明治通りの正門（写真下左）から入ると左手先の 10 号館 1F に学食があります。写真下右の正面奥が 10 号館です。



写真上右の右手前の建物は平成 25 年（2013 年）完成の「すがも鴨台観音堂」で八角・三匝の階銅で、堂内の回廊は往路と復路が交わることのない二十螺旋構造になっています。その構造を巻貝のサザエに例えて「鴨堂さざえ堂」とも称します。最上階にはご本尊の鴨台観音（観世音菩薩）が安置されています。地域に密着した仏教文化施設として誰でも入ることが出来ます。



写真上は 10 号館 1F の学食（カフェテリア）で月～金の営業時間は 8 時～18 時 30 分。当店名物と表示の「かつ丼」冷奴付き 380 円をいただきました。学食らしくご飯はたっぷりです。



学食右側の 5 号館 8F に平成 25 年（2013 年）から営業のプリンスホテル経営の鴨台食堂があります。プリンスホテルの味が安価で食べられると評判です。写真上右は網焼きサーロインステーキ 1,130 円。平日のランチは 11 時 30 分～14 時 30 分で今回は時間が早すぎて、食べられず看板の写真です。以前に食べに来ましたが、他のレストランに負けない味でした。土日も営業していますが、価格は 2,100 円となり、混みます。

〔学習院大学〕 豊島区目白 1-5-1 最寄駅 JR 目白駅

江戸時代の弘化 4 年（1847 年）仁孝天皇が京都御所で開講された学習所を起原とし、明治 10 年（1877 年）の皇族・華族の教育機関として新たに開校。昭和 24 年（1949 年）皇族の通う私立大学（一般の人でも入学可）となりました。

目白駅を出てすぐ右手が西門（写真下左）受付で名前と連絡先を記入して入門許可を受け、キャンパスマップがもらえます。3 名以上の場合は事前申請が必要。目白通りにある正門（写真下右 祝日に撮影）からも同様の手続きで入退門が出来ます。



輔仁会館西館 1F（自販機前が入口）が学食（カフェテリア）、正面の 2F がさくらラウンジ（喫茶）・ヌードルコーナーです。

1F で学習院女子が美味しいとお奨めのビーフシチュー480 円（写真下）



2 Fヌードルコーナーの ラーメン 250 円（懐かしい東京ラーメンの味）
平日の営業時間は学食 平日 11 時～18 時、さくらラウンジ 9 時 30 分～16 時、麺コーナー 11 時～14 時です。
中央教育研修棟 12F の目白倶楽部は日比谷松本楼のレストランでした（訪問時は貸切でした）

明治天皇の要望で第 10 代院長を務めた乃木希典が明治 43 年（1910 年）全寮制導入に伴い、総寮部内一室で学生と共に寝食を共にしました。院長の逝去後、その居室だった総寮部を「乃木館」（写真下左）として保存。昭和 19 年（1944 年）現在地に移築しました。乃木館、正門、西 1 号館、南 1 号館、東別館、北別館は国登録有形文化財に指定されています。校章は桜の花で、春には桜の名所です。学食下の「血洗いの池」は高田馬場の決闘の後、堀部安兵衛が血刀を洗ったとの言い伝えがあります。（学習院が目白に移転した明治 41 年より 272 年前のお話ですよ）



次回は 東京の学食めぐり-2 です。

平野 寅次郎 拝